

問 身障者へのハイヤーサービスの利用拡大は

町長 今後検討が必要と思っっている

75歳対象年齢の

引き下げの考えは

問 高齢者ハイヤーサービス事業は町の高齢者にとってなくてはならない施策と考える。

答 この制度を使い日常生活の充実を望む方が多数いる。もうそろそろ制度の見直しを考え、使いやすい制度の充実を考える時期ではないか。

と年齢層では80歳から89歳の利用が多く、現状では目的に沿った使われ方をしていると思う。

本4年2月末のハイヤーサービス利用者数は764人で1年前の人数と比較すると161人の増で今後、利用者は増えると思う。

問 身体障がい者に対する交通手段のサービスは現在も多種多様な良い制度があるが、75歳以下の方にとってはハイヤーサービス事業の利用によって充実した日常生活が送れることと思う。

答 75歳以下の身障者への利用拡大の考えは、そのうち16人が75歳以下であった。ハイヤーサービス事業の利用実態や免許証の自主返納者の年齢を踏まえると対象年齢の引き下げは難しいと考える。また、最初から免許証を持たない方との関係もあると思う。

問 75歳以下の身障者への利用拡大の考えは、

答 身体障がい者の外出支援は在宅福祉サービスで対応しているが、相談者の声を聞きながら障がいのある方が自立した生活が送れるサービス提供について今後も検討が必要と思う。

75歳以下の身体障がい者への利用拡大は



よこ りゅうぞう
余湖 龍三 議員

町民のための
町のサービス！
利用しよう！

300円で！
町内どこでも！
相乗りも！



問 空家・特定空家の定義は

町長 訓子府町空家等対策計画による

問 訓子府町では「空家等対策計画」の策定によって空家の調査がはじまるが、「空家」「特定空家」とは。

答 町では空家に関する対策を総合的かつ計画的に実施するために「訓子府町空家等対策計画」を策定した。「空家」とは居住その他の使用がなされていないことが常態である建築物およびその敷地をいう。「特定空家」とは空家などの中で、周辺や通行人などに悪影響をおよぼす恐れのある物として、具体的に4つの分類がある。



余湖議員の一般質問を視聴できます